



2026

業界・組合リーダーの 年頭所感

新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様に、
業界の現状、新年の展望等についてご寄稿いただきました。

—順不同・敬称略—



赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

理事長 赤 間 美代子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より赤帽事業へのご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。物流業界を取り巻く環境は依然として厳しく燃料費の高騰、さらに法改正による貨物軽自動車運送事業者の安全対策が強化され、点呼、勤務期間の順守、日報など業務の記録を残すことが義務付けられ、事業者の努力が一層求められる時代となっています。赤帽群馬県ではいち早く、安全管理者の選任届を提出し、日々法令順守で配送に取り組んでいます。

また、組合員の経営基盤強化と若手ドライバーの育成支援にも注力し、次代を担う赤帽ネットワークの発展を目指し、これからもお客様の信頼にこたえる安全・確実な輸送を通じ地域社会に貢献できる組織として歩みを進めてまいります。

本年が皆様にとりまして実り多い一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

太田機械金属工業協同組合

理事長 大 江 通 浩

新春を迎える謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は年初より米国トランプ大統領の関税問題に翻弄された年でありました。加えて米国のエネルギー政策は「化石燃料重視・規制緩和」に大きく転換し、自動車分野では電気自動車(EV)義務化や補助金を撤廃するといった方向に進んでいます。こうした関税の上乗せや経済環境政策の急激

な変化に我々製造業も大きく影響を受けた一年でもありました。

また製造現場の技術革新、AIやDX化といったことへの取り組みも進める必要があり、原材料費は依然高騰を続ける中、人材確保、賃上げ問題といった従前からの課題に対応するためにも、本年1月1日施行される取適法について組合一体となり促進していく必要があると考えます。

本年度も厳しい年と予想されますが、関係支援機関の皆様には尚一層のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

桐生織物協同組合

理事長 周 東 通 人

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

さて、昨年は依然として物価高騰や世界情勢の不安定化など、厳しい経済環境が続きました。桐生織産地におきましても、生産技術の継承や新たな需要創出といった課題に、引き続き向き合う一年となりました。

そのような状況下、産地活性化に向けた取り組みとして6年ぶりに開催された「桐生きものの日きものワインパーティー」をはじめ、「桐生織物記念館の日」などのイベント開催は、多くの方々に桐生織の魅力を再認識いただく貴重な機会となり、産地ブランディングの一助となりました。

本年は、これら積極的な情報発信の成果を活かしつつ、織維メーカーとしてサステナビリティへの配慮など責任あるものづくりを推進し、活性化の取り組みを一層強化していく所存です。

組合員一同、産地振興に邁進して参りますので、



本年も関係各位の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 広瀬 博之

令和8年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景況感は緩やかな回復傾向を示しました。加えて、インバウンド需要の拡大も期待され、持続的な景気の持ち直しが見込まれています。一方で、働き方の多様化に伴う新たな課題や、海外における資源価格の高騰・物価上昇、さらには内外の政情不安などが影響し、県内の中小企業者にとって不安の募る一年となりました。

こうした中、共済事業の果たすべき役割はますます重要性を増しております。ぐんま共済では、地域に根ざした安心の提供を使命とし、組合員の皆様の声に耳を傾けながら、保障内容の充実とサービスの向上に努めてまいりました。本年も「共に支え合う」精神を大切に、地域社会の持続的な発展に貢献すべく、役職員一同一層の努力を重ねてまいりますので、何卒、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

群馬県印刷工業組合

理事長 石川 靖

新年あけましておめでとうございます。激動の社会の中で中小企業は生き残るために必死です。以前は他社との競合が大きな問題でしたが、今は如何にしてこの新しい社会と向き合い付き合うかが課題です。賃上げの問題、人材不足、働き方改革等、経営者にとって考えなければならない問題が山積されています。

昨年、急激にも注目され始めたAIの進歩。この進歩は予想以上に早く、今年も活用者は増え、多くの問題も引き起こすことと思います。如何にこれを便利に活用するかが、私たちの業界にとって生死を分ける分岐点になるのではないかと思います。いずれにしても今のデジタル技術の進歩には、無関心ではいられない年になることは間違

いないでしょう。

協同組合群馬県機械設備工業会

理事長 和田 弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年を一言で申せば「人手不足がより顕著となった年」となりました。会員企業が手がける案件では、人手不足に資材費や労務費などの高騰も影響、工事の延期や停滞が生じる事態が今も散見されます。さらにこの傾向は年々深刻化しており、本年も業界全体の大きな懸念材料となっております。

私たち業界の主な特徴は、地域風土・設置環境・各部屋の仕様や要望などに個別対応する側面、また現地調査・設計・施工・メンテナンス・修理まで一貫した関与をすることで、居住性・快適性の確保・維持・向上、省エネによる自然環境やライニングコストの負担低減など建物や社会資本の価値を高められる点が上げられます。それゆえ人の手や感性や経験知見が物を言う生活環境の「オーダーメイド・コーディネート業」であり、人手・人材不足が深刻かつ直結する傾向にもあります。

年頭のご挨拶にあたり、改めてこのような私たち業界の現状と特性にご理解を賜りますようお願い申し上げますと共に、本年も引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

群馬県建設事業協同組合

理事長 青柳 剛

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、日頃より当組合の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「時間外労働の上限規制」から2年目を迎えた昨年は、酷暑日や線状降水帯など、年々加速する気候変動を考えた地域の建設業ならではの「柔軟な働き方」に、正面から向き合って行かなければならぬ年でした。

当組合としてはホームページを開設し2年目を迎え、道路清掃やパトロールの他、保険業務や群馬建設会館の貸出業務など、日々の活動を掲載しております。

引き続き、時代や気候の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、本年も県管理道路の安全・安心に



寄与出来るよう、日頃から道路パトロール及び道路清掃等に尽力してまいりますので、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひ致します。

結びに、建設業が社会に一層貢献していくことをお誓いするとともに、皆様方のご多幸とご健勝をご祈念致しまして、年頭の挨拶とさせて頂きます。

群馬県高圧容器整備協同組合

理事長 遠 藤 祐 司

明けましておめでとうございます。

当組合は、エルピーガスを扱う容器の再検査所です。エルピーガス業界は世界のエネルギー情勢の変動、国内のエネルギー転換政策といった大きな波の中で事業を推進してきました。エルピーガスの強みである自然災害対応力は各地で発生する自然災害の中で再確認されております。当組合もエネルギー基本計画の見直しが進む中、エネルギー安全保障と脱炭素化という取り組みに注力し、企業として厳しい社会環境や、市場の変化に対応し邁進していく所存です。

本年も皆様方のご支援並びに関係各位のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

理事長 町 田 憲 昭

「暮らしの安心、安全を守るブロックに」

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当組合ではSDGs「目標13気候変動に具体的な対策を」を継続して推進しています。

近年の気候変動の影響により、激甚化している豪雨や台風の被害が昨年も全国各地で発生し、河川氾濫等の甚大な被害をもたらした一年となりました。また、夏季の猛暑は観測史上の記録を更新するなど熱中症対策への関心も年を追うごとに高まっています。

当組合は、国土交通省の治水による防災・減災の強化方針に沿い、引き続きコンクリートブロックによる浸水防止対策を推進して参ります。

そして、カーボンニュートラルへの取り組みを業界に広く浸透させて、環境低負荷型、循環型社会の構築に寄与して参ります。

本年も防災関連の講演会の開催や研修会、技能士の育成など、未来に向けてコンクリートブロックが安心で安全な基本素材として必要とされるよう活動してまいります。

本年も会員皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

群馬県再生資源事業協同組合連合会

会長 吉 岡 努

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、日本経済はトランプアメリカ大統領による関税政策に振り回された一年であったのではないかと思います。国内においては選挙による大敗で石破政権が倒れ、新しく高市早苗氏が自民党総裁に就任し初めての女性総理大臣が誕生致しました。初めての女性総理とあって就任以来高い支持率を維持しておりますが、そこに至るまでの政治空白は長く、国際紛争や円安、また地球温暖化による異常気象などの影響による諸物価の上昇は一般消費者においては大変な一年であったのではないかと考えます。

令和8年は、再生資源業界においては、発生量の低下それに伴う競争激化、また慢性的な人手不足や後継者不足等、厳しい産業活動が続くと思われますが、環境保護という観点で見ると私達の業界は必要不可欠であり、決してなくなることのない業界であると考えます。世の中が目まぐるしく変化する中、その変化に迅速かつ的確に対応し業界全体の底上げをしていきたいと考えます。

SDGsやカーボンニュートラル等環境関連ワードは一層叫ばれるようになることは確実であり、それが我々業界にとって追い風であることは間違いない事実であると考えます。この追い風にうまく乗り我々業界の知名度上昇に繋げていければと考えます。様々な意味において、またあらゆる場所場面において、環境保全における社会的意識は年々高まっており我々業界の果たす役割もさらに大きなものになっていくことと考えます。

当組合は、環境保全に寄与する産業であるという誇りを持ち地域社会に貢献する企業・組合として活動していく所存でありますので皆様のご指導



ご協力をお願い申し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

群馬県碎石工業組合

理事長 金子光宏

災害時の安定供給に向けて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年、政界では新たな与野党の枠組みの下、憲政史上初の女性総理が誕生し、高市内閣が発足。政府・野党は、互いに熟議に基づく合意形成を図り、国家国民のための政治、政策を実現してくれることを切望しています。

経済面では、最低賃金の改定額が初めて千円を突破しましたが、諸物価も高騰し続け、人件費増に対処するための企業努力も限界にきています。

また、碎石業界も、組合員各社は厳しい経営状況を強いられ、政府・自治体の支援策がなければ、対応困難な状況です。

新たに策定された「ぐんま・県土整備プラン2025」では、「地域ごとの災害対応組織力の維持」を新たなコンセプトとして掲げています。組織力はもちろんのこと、災害対応工事には、資材の確保も必要なので、各地域で碎石業の経営維持が出来なければ、緊急時における迅速な対応も困難になります。

碎石の安定供給・維持確保を図るため、各地域における事業者の安定経営が十分図れるよう受注を確保していただきたく、よろしくお願ひします。

本年も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



群馬県紙器段ボール箱工業組合

理事長 植松巖

新年あけましておめでとうございます。

『箱』には様々なカタチがあり、化粧箱も段ボール箱も広い意味で商品や製品を包んでいます。それは包む機能はもちろんのこと、商品をより美しくアピール、差別化できます。大切な商品や製品を包む、梱包することは、デザイン・機能を追加し付加価値をつけてアピールできます。

私共県内各事業者では、豊富な経験と知識があります。あらゆる業種・業界で使われている段ボール箱、緩衝材、化粧箱、貼り箱、簡易箱、POP、包装・梱包資材など、様々な素材を組み合わせ、しかもエコにお客様のニーズにこたえることができます。短納期、小ロットなどへの対応。我々にはそれが可能です。

どうぞ県内各業事業者をご利用下さい。きっとお力になれると思います。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今川守

あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、群馬県内のあちこちで、明るい兆しを感じる一年でもありました。

商店街リノベーションの流れが本格化し、空き店舗を活かした取り組みが少しずつ増えてきました。若い方のチャレンジや新しいお店づくりの動きも目立ち、「商店街がまた面白くなってきたな」と感じる場面が多くありました。

地域と一緒ににぎわいをつくる取り組みも広がりました。前橋市での「風街タやけマルシェ」、桐生市で3年ぶりに復活した「本六夜市」、藤岡市の「オールディーズ」など、地域の魅力を掘り起こす動きが各地で生まれています。

どの地域も、「まずは動いてみよう」という前向きな空気が確実に広がってきたように思います。

本連合会といたしましても、本年は、こうした動きをさらに広げる年にしたいと思っております。

関係各位の皆様におかれましては、本年も変わらぬご支援とご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



一般社団法人 群馬県信用組合協会

会長 八 高 武

新年あけましておめでとうございます。

群馬県内の経済情勢は、各種政策の効果もあって、景気の持ち直しが続くことが期待されていますが、物価上昇、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。中小・小規模事業者は厳しい状況に置かれています。

また、経営者の高齢化に伴う事業承継、経営改善等が課題となっています。事業継続のための支援は、私ども信用組合の役割であると考えております。

あかぎ信用組合、群馬県信用組合および、ぐんまみらい信用組合の県内三信用組合は、「地域貢献・地域密着」を強固に連携しお客様への幸せづくりに本気で取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願ひいたします。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 星 野 陽 司

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

我々麺業界を取り巻く環境は、近年の気候変動、長期化する不安定な世界情勢、為替相場の変動等様々な要因により、麺類の主原料である小麦やそば粉、副資材、エネルギーコスト、物流費、労務費等の価格は高騰もしくは高止まりの状態が続いているおり大変厳しい状況にあります。

事業存続のためには、コスト上昇分を製品価格に転嫁し販売することが前提ですが、オーバーストアの中で量販店競争は激化し、物価高騰に応じた適切な価格構成や数量確保を困難にしております。

また、最低賃金を始め賃金自体は大幅に上昇しているものの物価上昇率が上回り、特に主食の米をはじめ多くの食品の値上がりにより消費者の将来への不安等は解消されず節約志向は依然根強く、購入数量の減少やより安い商品への移行が見られ、収益確保が難しい環境にあります。

特に、人口減少により国内市場が縮小する中、スーパー・ドラッグストア等の出店攻勢は続き、

店舗間競争は激しく、生産コストに見合う適切な価格改定が行えておりません。

このような厳しい状況下に置かれておりますが、調理の多様性などから家庭内食が見直しされている流れを大切にし、国民食である麺の安定供給という社会的責任と、美味しく、安全で価値ある麺類の提供者としての使命を果たして行きたいと思います。

本年も昨年に続き、ぐんまの郷土料理の「おつ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に広め、地域食としての「めん」を通しての家庭づくりや人々のコミュニケーションづくりなど、生活者の食の豊かさと麺食文化の向上に努めてまいります。

群馬県税理士協同組合

理事長 高 橋 浩 生

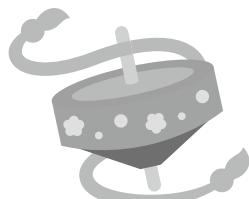
新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、高市氏が自民党総裁に選出され、女性首相が誕生。これにより政局が大きく動き出しました。また、自民党の再構築や与党野党の枠を飛び越えて新しい政策論議もされております。税制面でも日々緊張状態が継続し、新たな税体系もできつつあります。

このような税制面や経済状況に対応するために税理士には年間36時間以上の研修義務が課せられております。本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員の協同組合事業としての経済的基盤の確立を図りながら、この研修を助成することを行っております。本年は政局転換期であり税制転換期でもあるので、税理士会県連や各支部と緊密な連携を保ちながら諸事業を推進していきます。

皆様におかれましても、混沌とした時代ではあります、健やかに良い年となりますよう祈念しております。





群馬県石油協同組合

理事長 今 井 正太郎

新年あけましておめでとうございます。

1974年から50年以上本則税率に上乗せされていたガソリンの暫定税率は、昨年12月に与野党合意で廃止されました。また、今年の4月には軽油の暫定税率が廃止されます。それにより店頭単価はガソリンで約25円、軽油は約17円(補助金相殺で実際はそれぞれ15円、7円)下がり、IEA(国際エネルギー機関)の予想では需要は拡大するものの、成長ペースは鈍化し2030年付近で横ばいになる可能性が示唆されています。加えて、世界的なEV普及による石油代替圧力も無視できません。一方で、OPECは2026年には1.3mb/日(百万バーレル/日)の需要成長を見込んでおり、依然として需要を強めに想定しています。

今年も最低賃金のアップや人材の確保等、課題の多い我々石油業界ですが、組合員の皆さんのが働きやすく、将来の夢を持てる業界になるような情報提供や研修を実施したいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

群馬県電気工事工業組合

理事長 中 島 正 幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は弊組合の事業運営に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私どもの業界においても技術者の高齢化による離職に対する若年層の入職者は少ない状況が続いています。人材確保のためには、環境を整えて魅力ある職場づくりをしなければなりません。業界の未来を見据え、財政強化・DX戦略・AI技術の進展への対応を行うとともに、青年部組織への支援を強化していき、働く希望を見出せるように取り組んでいきたいと思います。

さらに、カーボンニュートラルの実現に向けた動きや働き方改革に伴う労働規制についても大きな変革期を迎えています。弊組合といたしましては、スケールメリットを最大限に生かせるよう取り組み、強い組合・業界を目指します。

結びに、皆様にとりまして新年が明るく実りあ

る年となりますよう祈念し、挨拶といたします。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 今 成 克 之

昨年は、アメリカでトランプ関税と称する大規模な相互関税が発動され、全世界の貿易環境が大きく変化し、国内輸出企業に与える影響も大きく、今後の景気がどうなるかを危惧しています。国内では高市自民・維新連立政権が発足し、ガソリン・軽油の暫定税率の廃止が決まるなどして、今後のかじ取りに期待をしております。

運輸業界では、昨年4月1日から改正貨物自動車運送事業法が施行され、荷待ち・荷役時間の削減や多重下請構造の是正を進める等、この改正は物流業界の効率化と安全性向上を目指しています。

また、昨年4月1日に国土交通省が、運行前自動点呼の制度導入を発表しましたが、当組合が運営する点呼補助事業がどのようにかかわれるか推移を見守っております。

そんな中、当組合は各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取り組んでまいります。

今後とも関係機関各位のご指導ご協力をお願い申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 諸 角 富美男

明けましておめでとうございます。

生コンクリート業界を取り巻く環境は、需要の停滞をはじめ、原材料価格の上昇、従業員の高齢化・確保難など、大変厳しい状況となっています。

こうした中、生コンクリート工業組合におきましては、これまでどおり安定的な出荷を行い、建設資材産業としての使命をしっかりと果たして参りました。本年も品質管理を徹底し安定供給に努めて参ります。

また、重点課題であります人材確保について、昨年はプロジェクトチームが作成した「魅力ある職場像提言」に掲げた従業員を大切にする業界を目指し、職場環境の整備等の取り組みを行いました。さらに若年者を中心に多くの方に生コン業界



の魅力を知っていただくことを目的に従業員からマスコットキャラクターを募集しました。今年は、マスコットキャラクターを活用した取り組みをはじめ様々な活動を実施して参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。

群馬県バス事業協同組合

理事長 高橋 良彰

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

当組合は、群馬県内のバス事業者40社が加盟し、平成9年の設立以来、高速道路通行料金後納事業をかわきりに、燃料や安全機器の共同購買事業、旅客輸送共同受注事業そして令和7年度からは、保険の代理業務を加え、組織の充実強化を図っております。

特に、共同受注事業では、児童生徒の音楽会、武尊山スカイビュートレイル、各種イベントの参加者送迎、そして毎年人気が高まるぐんまマラソンでは、約100台のバスを手配するなど、安全・安心・確実な事業を推進しております。

また、恒例のニューイヤー駅伝の選手輸送や豚熱発生に伴う県職員等の輸送など、昼夜を分かたず、需要に応える事業を実施しています。

バス業界ではコロナ以降、団体旅行から個人旅行への移行、諸物価の高騰などを背景に厳しい経営環境にありますが、引き続き会員事業者が一致団結してお客様の要望に応えていきたいと存じます。

そして、来る2029年(令和11年)には、本県で湯けむり国スポ・全スポが開催予定でありますので、同大会の一助となる事業を展開して参りたいと思います。

今後とも当組合に対する格段のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



群馬県板金工業組合

理事長 中村光一

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は資材価格の高騰や本格的な人口減少社会を迎える、職人・後継者の不足、技能技術の伝承問題といった厳しい状況が続きました。

このような課題が続く中でも、本年は「安全・品質・育成」を重点に、現場の安全管理の徹底、施工品質の向上、そして次世代を担う若手人材の育成を強化してまいります。

また、デジタル化への対応や省エネ建材の普及促進など、業界を取り巻く変化にも積極的に取り組み、組合全体の競争力を高めていく所存です。

当組合としては若者に対しての建築板金技術の魅力を伝える啓蒙活動や、技術者の育成・経験者の定着に向けた提案を行い、組合員への直結した事業の構築や、組織の団結等を今年も展開してゆきたいと思っております。

本年も皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭の挨拶とさせて頂きます。

群馬県美容業生活衛生同業組合

理事長 町田仁一

あけましておめでとうございます。中央会及び関係各位の皆様にとりまして輝かしい一年となりますよう謹んでお祈り申し上げます。

さて、食品や燃料をはじめ仕入れや資材等の安定した流通を求める経営者。適正価格で安心した生活を送りたい消費者。美容業界もこの図式にもれる事はありません。コロナ禍後、営業形態も大きく変わりました。半個室や完全予約制の導入、人手不足に伴った営業形態への移行等、変化のスピードも早くなっています。

こんな時だからこそ、常に消費者の存在を視界の真ん中に置かなければなりません。様々な事業が、消費者の満足度を上げ、個々のサロンの利益につながるような展開を目指しています。そのためには、中央会の各団体の皆様との連携が大切です。相互間の情報交換を図り、新年が、中央会の各団体の皆様と一緒に成長できるような一年となりますよう祈念しまして年頭の挨拶と致します。

今年もよろしくお願い致します。



群馬県不動産事業協同組合

理事長 木暮伸樹

新年あけましておめでとうございます。
昨今の空き家の増加は社会問題となっております。当組合では関係団体と協力し、かねてから不動産無料相談を実施しておりますが、空き家に関する相談件数は増加傾向にあります。こうした状況を受け、無料相談員を対象に「空き家相談研修」を昨年4月より開始しました。本研修は、一般消費者から寄せられる様々な空き家に関する相談に対して、基本的なアドバイスや専門家への取り次ぎができる人材を養成することを目的としており、現在では当研修を修了した相談員が空き家の相談に対応しております。

また、移住関係では、昨年11月に有楽町の東京交通会館にて「ぐんま移住＆交流フェア」が開催され、不動産無料相談を担当しました。今後も県と協力しながら移住促進を行って参ります。

末筆になりますが、皆様のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県鍍金工業組合

理事長 藤間一夫

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年10月、高市内閣が発足し日経平均株価はあつという間に5万円を超えるました。

国内では、積極財政による成長戦略を掲げ、組閣後、直ちに各大臣に指示を出し、ガソリンの暫定税率廃止、物価高対策等々、矢次ぎ早に政策を実行、または実現に向け努力しています。

外交面では、ASEAN首脳会合、トランプ大統領との会談、APEC首脳会議、中国、韓国との首脳会談と一連の外交日程を見事に終えました。おもてなしの姿勢、地域、国ごとに異なる習慣に合わせた接遇に加え、主張すべき事を物怖じせずに言う姿は頼もしい限りです。

先行き不透明であった前政権下、暗闇の中を彷徨っている気分から一転、夜が明け青空の下に一気に解放されました。混沌とした世界情勢の中、日本の舵取りを担うに相応しい頼もしいリーダー

高市総理が誕生し嬉しく思っています。

JAPAN IS BACK

群馬県遊技業協同組合

理事長 森山秀夫

新年あけましておめでとうございます。

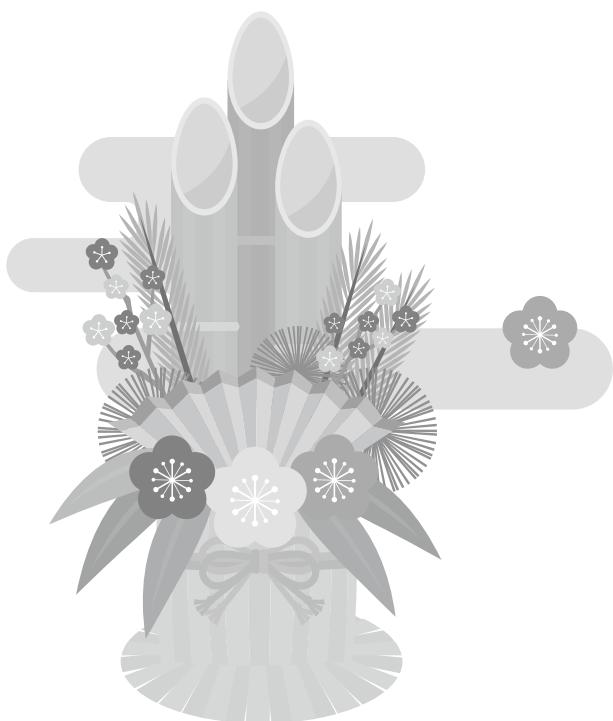
皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私ども、パチンコ・パチスロ遊技産業は、娯楽の多様化に伴う遊技参加人口の長期的な低迷やホール経営の財政的負担などの影響、更には少子高齢化により、パチンコ・パチスロ経営は大変厳しい状況になっております。

このような状況の中、身近で手軽な大衆娯楽として、より多くの県民の皆様に愛され、安心して楽しんでいただけますよう、ギャンブル等依存症対策の徹底を図るとともに、児童虐待防止や子ども食堂への支援をはじめとした社会貢献活動の更なる充実に努めて行きたいと考えております。

また、犯罪の起きにくい社会づくりに向けた諸活動を警察の指導の下、より一層強化し県民の皆様からの信頼を得て参りたいと思っております。

最後に、皆様にとりましてこの1年間が良い年となりますようご祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。





群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

理事長 田 村 明 義

新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年の6月に新たに理事長に就任いたしました。観光立県群馬の実現のため、微力ではございますが努力する所存でございますので、多くの皆様のご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

さて、私共「宿泊観光業界」の現状でございますが、かつてのコロナ禍を何とか乗り切ることが出来、宿泊のお客様も徐々にではありますが、平時の水準に回復して参りました。

しかしながら、ご承知のように諸物価高騰・働き手であります人材不足等多くの課題を抱えており経営状況は厳しいと言わざるを得ない状況です。私のモットーは「現場主義」。組合員皆が元気で意欲をもって働く環境を整えることが私の使命であり、そのためにはトップダウンで物事を進めるではなく、現場の声をしっかりと聞く為に自ら汗をかき、課題を克服して参る所存です。現場が活気づくことは、訪れるお客様も楽しんで頂けるものと考えております。

組合員一同「おもてなしの心」を大切にし、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

高崎卸商社街協同組合（ビエント高崎）

理事長 杉 浦 幸 男

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

平素より、当組合の事業運営には格別のご支援とご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

旧年は、流動化する政局のもと、初の女性首相が誕生し、積極財政への期待が高まりましたが、一方で物価高や人手不足が続き、AIや脱炭素など新たな経営基盤の構築が求められる一年でもありました。

こうした中、当組合は地域卸商業の中核として、地道に共同事業の充実と組合員支援の強化に取り組むとともに、高崎副都心としての地域整備を推進し、より機能的で魅力あるまちづくりを進めております。

旧年中には、新たな時代に備えた事業環境の整備を目的に、新オフィスビルの設計を行いました。

本年は建設工事に着手し、次代に相応しい拠点の形成を進めて参ります。これにより、組合員の利便性の向上と地域産業の活性化に一層貢献できるものと考えております。

本年は「丙午(ひのえうま)」に当たります。故事や由来には諸説ありますが、「エネルギーッシュで情熱的な年」であることを期待致します。

創立60余年の歴史を礎に、本年も地域とともに歩む組合として、持続可能な発展と新たな価値創造に努めて参ります。

関係各位のご健勝とご発展をお祈り申し上げるとともに、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

高崎地区運送事業協同組合

理事長 吉 原 秀 忠

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、憲政史上初の女性首相に高市早苗氏が就任し、氏が掲げる「責任ある積極財政」が暮らしや将来への不安を希望に変え、経済の成長と安定につながることを期待しております。

運輸業界では、物流2法の施行により、行政と業界が連携して物流の2024年問題への対応が進みました。荷主との契約や運賃、労働条件の改善など、業界全体で取り組む課題も明確になり、今後の改善に向けた基盤が整うことを願っております。

一方、高齢者人口が全人口の1/3に達して生産人口が減少する「2030年問題」により、「運送能力の低下」「配送時間の延長」「人件費の高騰」などが重要課題となっております。

こうした中において、当組合は「相互扶助」の精神のもと、関係機関と連携を強化し、組合員の発展に資する各種事業を推進し、課題解決にも積極的に取り組んでまいります。

結びに、皆様にとりまして本年が明るく実りある年となりますようご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。





館林機械金属工業協同組合

理事長 多 田 征 訓

謹んで新春の祝詞を申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、トランプ関税や戦争などの国際情勢の変動、地政学的リスクといった「人為的な影響」により、厳しい経営環境下で価格転嫁が難航いたしました。特に、原材料価格の高止まり、恒常的な人手不足、人件費高騰が重なった一年でした。

しかし、組合企業の中には果敢に経営努力を続け、ロボット化、DX化、多様化への取り組みを推し進めました。その結果、組合員数が増加し、地域製造業の確かな底力を証明するものとなりました。

2026年は「前進」を象徴する午年です。私たちはこの機運を捉え、「挑戦、飛躍、成長」を旗印といたします。組合企業間の交流を基盤に、産業の原点たる「世の中に必要とされる企業創り」を目指し、一丸となって事業活動を推進してまいる所存です。

皆様の益々のご健勝とご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 宇 井 正 典

令和8年、新しい年のお喜びを申し上げます。昨年度は辰巳天井の名の通り、日経平均株価が5万円を超える大企業を中心に市場は好況を維持しておりますが、為替の影響、円安が進み異常なほどの物価上昇が続いています。また何らかの「見えざる手」により最低賃金も群馬県は78円アップの1,063円となり、中小企業を巡る環境は一段と厳しくなっております。果たして令和8年は午年。株式市場は馬下がりと言われ、そろそろ株価も暴落する危惧があります。ましてや60年に一度の丙午の今年、出生率は更に下がり少子化が深刻な問題になりそうです。60年前、1966年の丙午の時は前年よりも50万人も出生数が少なかつたのです。非常に厳しい状況が予想される本年ですが、組合ではこのところ若返りが進んでおり、今まで行ってきた事業や取組のみならず、様々なアイディアが生まれてきております。事業のた

めになる講演会や視察、AIを使った省人省力化、展示会への出展等、若い力と情熱で新しい未来を切り開くことをお約束し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都 丸 和 俊

新年、明けましておめでとうございます。

協同組合前橋問屋センターは、昭和40年7月に創立して以来、組合創立60年の節目の年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご指導、ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

そして、昨年10月に組合創立60周年記念式典及び記念祝賀会を開催し、多くのご来賓の皆様にお越しいただきました。また同日には永松茂久氏を迎え、「人は話し方が9割」と題して記念講演会を開催し、ご来賓の方々をはじめ、関係各位や組合員従業員にも多数ご参加をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

この組合創立60周年を契機に、更なるサービスの向上に努めてまいる所存ですので「前橋問屋センター会館」のご利用を心からお待ち申し上げるとともに、今年一年が皆様にとりまして最良の年になりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

